

県図なう。

令和4年7月15日
第136号(毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
tel:099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。 鹿児島県立図書館

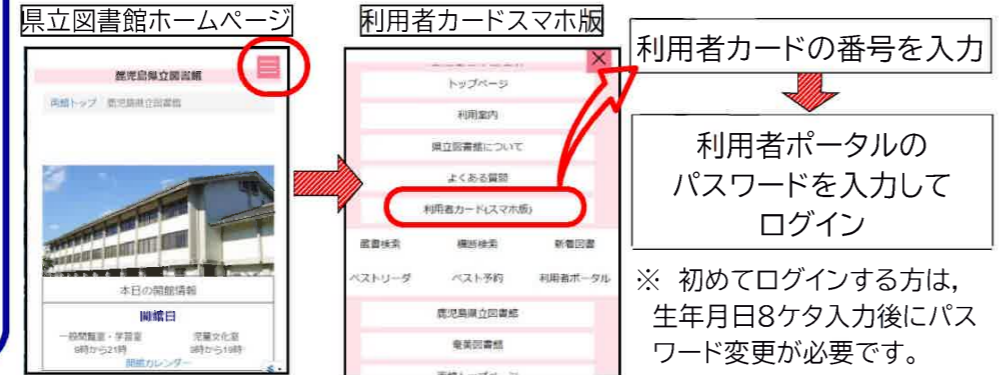
ホットニュース

利用者カードをスマートフォンで表示することができます

スマホ利用者カードイメージ



県立図書館の利用者カードをお持ちの方は、スマートフォンでも、そのカードを表示することができます。「利用者カードを持ち歩かず、スマートフォンで処理したい」という方や「利用者カードを忘れてしまった」というときなどに、とても便利な機能ですので、おすすめします。ログインの方法は次の通りです。



(注意)セキュリティの関係上、表示日当日のみ利用可能となりますので、利用される日にログインしていただくことになります。なお、スクリーンショット(画面を撮影)による提示は利用できません。

図書館で探そう、調べよう!

～珍しい来館者～

春休みに入る直前の週末のこと。児童文化室に小学生が5・6人、グループでやってきました。日頃、児童文化室は、親子で来館される家族連れがほとんどで、小学生だけで来館するというのは珍しいことです。大きなリュックを背負った子供たちは入室するなり、「よし、探そう!」と声を掛け合って、散らばり始めました。その姿はとても新鮮で、カウンターにいた私は、「何を探しに来たのかな」、「何が始まるのかな」とわくわくした気持ちになりました。数人に聞いてみると、「近いうちにお別れ会があるから、出し物するマジックのヒントを探しに来た」とのこと。私が分類の見方を説明しながら、7類の「レクリエーション」と「劇」のコーナーを案内すると、子供たちは「おー!」と歓声を上げて、書架から本を取り出し始めました。すると、その声に集まってきた児童が、「やってみたいマジックはもう決まっています、その方法を詳しく知りたくて図書館に来たんだ」と話してくれました。そこで、書庫から該当しそうな本を数冊新たに持ってきて、子供たちに届けました。子供たちは、それぞれ見つけた本を抱えて輪になり、読み比べた中から、数冊借りて帰っていきました。

複数冊読み比べながら意見を出し合う姿に、日頃の学校での様子が目に浮かびました。マジックの方法は、インターネットで検索すれば、すぐに見付かったかもしれませんが、それでも、お休みの日にみんなで調べてみようかと公共図書館を訪れてくれたことに、図書館職員としてうれしさがこみ上げました。

今でも時折、「マジックは成功したかな」と思うことがあります。夏休みは自由研究や読書感想文など、図書館を活用する場面も多いことでしょう。たくさん本をそろえてお待ちしております。

《一般図書》7月15日(金) **新着図書案内** 《児童図書》7月23日(土)

- 『<叱る依存>がとまらない』 村中 直人/著 紀伊国屋書店
- 『大惨事の人類史』 ニール・ファーガソン/著 柴田 裕之/訳 東洋経済新報社
- 『妻がどんどん好きになる』 梶原 しげる/著 光文社
- 『たのしごとデザイン論』 カイシトモヤ/著 エムディエヌコーポレーション
- 『水曜日は働かない』 宇野 常寛/著 ホーム社
- 『ずぼっじー』 高橋 祐次/作 講談社
- 『きりんのまいにち』 二宮 由紀子/作、大野 八生/絵 光村図書出版
- 『ももちゃんのピアノ』 柴田 昌平/文、阿部 結/絵 ポプラ社
- 『たぶんみんなは知らないこと』 福田 隆浩/著、しんや ゆう子/画 講談社
- 『桃太郎は嫁探しに行ったのか?』 倉持 よつば/著 新日本出版社

催し物の御案内

読書の魅力を伝える活動推進研修会

子供から大人までの幅広い読書活動の推進を目指し、開催地区内の市町村図書館(室)と地域や家庭、そして県立図書館が連携・協力して開催する研修会です。今年度は、南薩地区と始良・伊佐地区で開催します。詳細については、後日、県立図書館のホームページに掲載します。参加には、事前の申込みが必要です。ぜひご参加ください。

【南薩地区】 日時: 令和4年8月24日(水) 13:00~15:30 会場: 南さつま市民会館 内容: 講演, 事例発表 実演	【始良・伊佐地区】 日時: 令和4年9月7日(水) 13:00~16:30 会場: 大口ふれあいセンター 内容: 講演, 事例発表 ワークショップ
--	---

図書館職員のつぶやき

感染症予防対策として自宅で読める冊数を増やそうと利用者カード1枚につき10冊の貸出しが可能である。

児童文化室は休日ともなると大勢の利用者が訪れる。子供たちは本を探しにお目当ての書架へ。本を取り出し、ページをめくる。絵本などはその場で読み終えてしまうものもあるけれど、借りる本を大事に抱えて次の書架を巡る。利用に慣れた子供たちは本を検索して「書庫の本なんですけど、お願いします。」と所蔵レシートを持ってカウンターにやってくる。本を借りて図書室を後にする表情は、満足げ。

なによりも、お子さんと一緒に図書館を訪れる保護者の方がすばらしい。温かいおやこの時間の過ごし方だと感じる。赤ちゃんから大人まで安心して過ごせる図書館で、お気に入りの本とおやこの記憶が刻まれていくのだろうな...などと、そのお手伝いできることに幸せを感じながら、業務に励んでいる。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、やなせたかし/原作の『まねっこ まねっこ』(フレーベル館)です。子供に初めて読み聞かせをした本。お友達からの出産祝いでいただいたもの。生まれてすぐから読み聞かせていたので、読んでいても無反応なことも。でも私のほうは、『聞こえているかな』、『笑った気がする』、『本を好きになってくれればいいな』などと思いつつ読んでいました。子供の記憶に残ってはいないでしょうが、私の記憶には、そのときの情景や思いなどが蘇ってくる本です。あれから12年。本棚の断捨離の度にまた本棚に戻される、なかなか手放せない一冊です。



図書館クイズ

にじいろのほん『きいちゃん』
山元加津子/著 多田 順/絵 (アリス館)からのクイズです。

きいちゃんは おねえさんの けっこんしきの
おいわいに なにを プレゼントした?
①てがみ ②ゆかた ③おはな

ヒント
なつに つかうね

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、8月14日(日)までに投入してください。
正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「①よぞらにきらめくほし」でした。
たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
7月	10	11	12	13★	14	15◇	16◆
	17	18	19	20★	21	22	23□
	24	25	26	27★	28	29◇	30
	31	1	2	3★	4	5	6
8月	7	8	9	10★	11	12◇	13
	14	15	16	17★	18	19	20◆

- 開館時間 火曜日～土曜：9時～21時
日曜日・祝日(白抜)：9時～17時
- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- ◇ は、一般読書室新着図書の日(7月15日,7月29日予定,8月12日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(7月23日)
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。